

<横浜市議員（旭区選出） 古川なおきの活動報告>

第26号  
2003年2月20日  
一月刊一



# 古川なおき レポート



古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50  
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@fukurukawa2002.com



横浜市の経営改革を実現させます！

## 横浜市の予算と環境対策

はまの暦の上では春でも朝夕はまだ冷え込みます。皆さまお元気にお過ごしでしょうか？

さて、二月十三日に中田市長になって初めての平成十五年第一回定例会がスタートしました。横浜市一般会計予算は約一兆三千億円で、ニュージランドの国家予算と同じ規模になります。

主な財源は皆さまからいただいた税金と、この収入が、資産税、住民税、固定資産税、教育、環境対策、スポーツ、文化活動の振興、経済や都市基盤整備などに充てられます。今年度の予算配分の特徴として、高齢者や子育てなど福祉、若干減る見込みです。昨今の厳しい景況は、影響が大きいかもしれません。

減り、市中、三入も、中期、三入も、た、市中、三入も、で、市中、三入も、た、市中、三入も、

に、市中、三入も、た、市中、三入も、

の現状です。私の中心は、中田市長を中心とする「約三万人の職員が必死に頑張る」という改革の取り組み、税金の使われ方を直視する必要があります。

このように、今後、市民と行政が協働して、いかに行政の効率化を進め、市民の負担を減らすか、これが最大の課題です。

環境対策では、平成12年度におおきく削減した排出量を、平成13年度に引き上げ、削減目標を掲げ、別注品目を増やすなど、徹底した削減に取り組む予定です。

また、ごみ分別の徹底、資源の活用、焼却場の埋立処分場の確保、焼却場の費用を捻出するなどの取り組みを進め、市民の負担を減らすことを目指しています。

### ◇ 古川なおき2月の主な予定 ◇

- 18日(火) 大学教育委員会(一般議案等審査)
- 20日(木) 本会議(第2日)
- 21日(金) 本会議(第3日)
- 22日(土) 第115回旭区民会議  
南希望が丘連合自治会10周年
- 23日(日) 古川なおき事務所開き  
女声合唱と若きリストたちの夕べ「桜囃子」
- 26日(水) 予算第一・第二特別委員会  
連合審査会(総合審査)

### <横浜市の予算案>

一般会計	1兆3,014億円
特別会計	1兆4,118億円
公営企業会計	6,828億円
全会計合計では、	2兆4,815億円
全会計合計では、	3兆3,960億円

民間の経営感覚を役所へ！

古川なおき(34歳)  
横浜市議員

古川なおき(34歳) 横浜市議員

皆さまのご意見をお待ちしています。

このように、今後、市民と行政が協働して、いかに行政の効率化を進め、市民の負担を減らすか、これが最大の課題です。

古川なおきサイトも携帯サイトも更新しています。ご覧ください！ <携帯サイトはiモード/J-スカイ/EZweb対応>

# www.furukawa2002.com

お友達ご紹介ページ開設  
みんなにご紹介ください！

市政目安箱No. 8 集計中間報告

横浜市の福祉について

今回は「横浜市の福祉」について、市民の皆さまに関心が高い分野についてご意見をお聞きしました。

2月17日までの目安箱集計の結果、右円グラフのような結果となりました。(項目の複数回答分を含んだ割合です)

「横浜市の福祉」という大きなテーマですが、市民の皆さまにとっても様々な分野に関心があることが改めてわかりました。

私は「福祉」については、どう改善・充実させていくのか、どう市民のニーズにあったものにしていくのかということ当事者や家族、サポートする人など現場の視点で考えなければならないといつも思っています。実情を把握せず、ただ上から押しつけるような施策では意味がありません。実際に「福祉」を必要とする人、また将来必要となる人を意識しながら政治家として行政に提案していきたいと思っています。皆さまの具体的な声を聞いてみると、施設を増やしてほしい、エレベータを設置してほしい、子育てにお金がかかりかかる、両親の介護が大変など個々の方にとっては切実な声をたくさん聞きます。また、皆さまに共通する問題もたくさん聞きます。

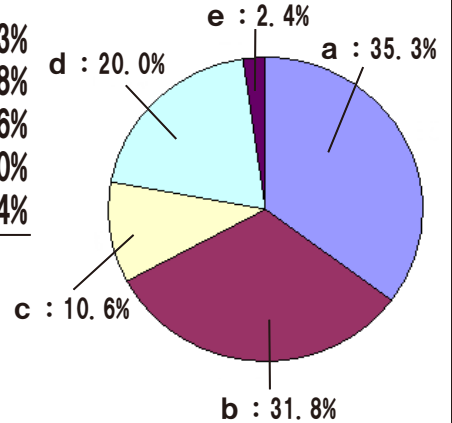
私は、実情にあった「福祉」の充実を実現するために、無駄な税金の使い方を徹底して洗い出し、高齢化社会に対応したハード・ソフトを必要度と市財政のバランスを見ながら順次前進するよう努力いたします。引き続きご意見をお待ちしております。

横浜市の福祉について関心のある分野について教えてください

- a. 高齢者福祉 : 35.3%
- b. 子育て福祉 : 31.8%
- c. 障害児童福祉 : 10.6%
- d. その他 : 20.0%
- e. 無記入 : 2.4%

合計: 57通

実施期間: 2003/1/22-2/17  
 配布場所: 横浜市旭区 他  
 返信数(2003/2/17現在): 57通  
 (E-Mailの0通を含む)  
 ※ 割合は項目の複数回答分を含む



■その他のご意見・ご要望等

- ・総合福祉関連の人材育成向上の確保
  - ・バリアフリーのための改築費用の一部を負担してほしい
  - ・福祉は「丸がかえ」で考えるのではなく、自立に向けての視点で考えていくべき
  - ・地域介護、支え合い等の活動を行政とNPOが連携してやっていくべき
  - ・住みやすい街づくりのために、もっと市民の声を反映してもらいたい
- 他にもたくさんのご意見・ご要望をいただきました。今後の政策提案の参考にさせていただきます。

古川なおきを励ます新春の集い開催!

2月2日(日)、毎年恒例の「古川なおきを励ます新春の集い」が開催されました。

古川なおきスクエア学生合唱団の歌声が鳴り響く中、春風亭柳如さんの司会で古川なおきが登場。中田宏横浜市長、森田健作衆議院議員、小林温参議院議員などの先輩方からご挨拶をいただきました。

会場は超満員で熱気がムンムンと漂う中、プロジェクトでの日常の政治活動のご報告や街頭演説の様子、ホームページの紹介なども行われました。

また、古川も皆さまと楽しく過ごすことができた日となりました。

中田市長からのご挨拶の中で「**コールセンターの実現は古川さんの提案があったからです。同世代の古川さんに期待しています!**」とのメッセージもいただき、横浜市の経営改革に向けた意気込みも述べられていました。古川も真の経営改革に向けて、市民のための行政が実現できる仕組みを構築したいと決意を新たにしているようでした。(編集部談)



▲ 古川なおきスクエア学生合唱団



▲ 中田宏・横浜市長からも激励のメッセージをいただきました

◇ 政治活動資金を公開します! ◇ 2002年古川なおき青春の会収支報告

政治家自身が率先して情報公開を行わなければ、行政に対して情報公開をいう立場にないと思います。また、市民の皆さまに信頼できる政治を実現するために私は年1回、この古川なおきレポートに資金管理団体の収支を公開しています。

[収入]	
寄附	3,118,937円
その他の事業収入(催し物の余剰金)	537,439円
収入合計	3,656,376円
[支出]	
事務所費(人件費・光熱費・消耗品など)	2,748,944円
政治活動費(交通費・会議出席費など)	1,763,284円
レポート発行費(印刷・封筒・郵送料など)	3,922,872円
研修会費・書籍代・記録資料費	203,510円
支出合計	8,638,610円

※ 収入と支出の差額は自己資金で負担しました。  
 ※ 事業収入は経費との差額を計上しています。  
 ※ 古川なおき青春の会は政治団体(資金管理団体)です。

古川なおきプロフィール <naoki@fukurawa2002.com>

昭和43年8月31日横浜市生まれ 34才  
 県立希望ヶ丘高校卒業  
 明治大学政経学部卒業  
 横浜銀行勤務後、議員秘書となる  
 平成7年横浜市議員初当選(26才)  
 平成14年度 大学教育常任委員会副委員長  
 平成14年度 災害対策情報化推進特別委員会  
 自民党横浜市支部連合会青年局幹事長  
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員  
 旭区スポーツダンス協会顧問  
 旭区サッカー協会顧問、横浜青年会議所(J.C)  
 日本動物福祉協会横浜支部支部長  
 鶴ヶ峰商店街協同組合顧問  
 好物: カレー・サンマー麵  
 特技: 締結式の司会&サッカーのリフティング

一学生の思い  
中央大学総合政策学部政策科学科4年  
末廣潤一

私は、2001年夏に古川さんのもとで議員インターンシップをさせて頂いてから、古川さんと活動を共にしています。主な活動としては、朝夕の駅頭でのレポート配布、ポスティングなどです。中でも、私自身が思いを込めて取り組んでいるのは、駅頭でのレポート配布です。

毎朝、通勤、通学のために足早に駅頭を通り過ぎていける方々が多い中、私は一人でも多くの方に古川さんの掲げる政策を知ってもらいたい、市政報告が掲載されているレポートを読んで頂きたい! という気持ちで一生懸命配っています。何人もの人に無視されたりすると空しくなる時もあります。そのような時に改めて自問します。「なぜ自分はこんなことをしているのだろうか」

もちろん、古川さんの政治理念に共感し、応援したいという気持ちもあります。また、中田市長よりも若い市会議員は古川さんだけなので、期待しています。しかし、それと同じくらい、私は本来一番身近であるべき地方政治に一人でも多くの方々に参加して頂きたいと考え、レポート配りをやっているのです。

特に、昨今若者が政治に対して無関心であると言われるようですが、私のような一学生がレポートを配ることによって、同世代の方々が政治へ関心を寄せるきっかけとなることができれば、とてもうれしく思います。

またどこかの駅でお会いするかもしれませんね。その時は、よろしくお願いたします。